

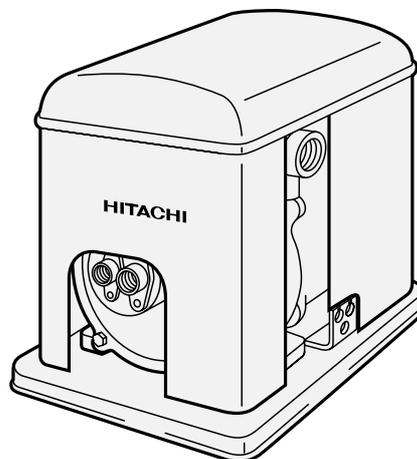
日立浅深两用非自動ポンプ

〔单相用〕 C-P400V形

〔3相用〕 C-K750V形

このたびは日立浅深两用非自動ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。



もくじ

取り扱いについて

	ページ
●安全上のご注意	2
●各部の名称と使いかた	4
●使用上のご注意	5
●故障かな…と思ったら	5
●仕様	5
●保証とアフターサービス	6

据付工事について (販売店様・工事店様用)

	ページ
●据え付け前の確認	7
●据え付け時のご注意	8
●配管工事について	9
●配線工事について	10
●運転について	11
●防寒について	11

- 据え付けは専門工事が必要ですから、販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- ご購入のポンプの形名確認は、ポンプカバーの表示をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。

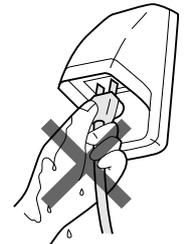
- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る。また、ぬれた手で抜き差ししない。

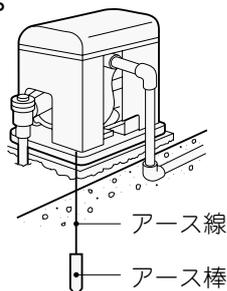
- 感電やけがをすることがあります。



アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

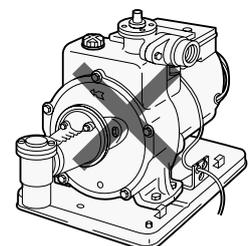


禁止

ポンプカバーを外したまま使用しない。

- ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。

※ ポンプカバーを取り付ける際は、電源コードおよびアース線を挟み込んで傷つけないように注意してください。



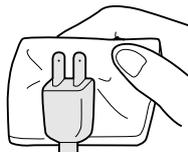
警告



清掃

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく。

- 火災の原因になります。



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

- 誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



修理時対応

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、ブレーカーを切って、お買い上げの販売店に必ず点検・修理を依頼する。

- 感電や漏電・ショートなどにより火災の恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない。）

- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

注意



電源

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る。

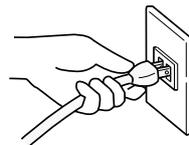
- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



注意

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。

- 感電やショートして発火することがあります。



禁止

運転中や運転直後のポンプやモーターに触れない。

- 高温になっていますので、やけどの原因になります。



禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすいものを入れない。

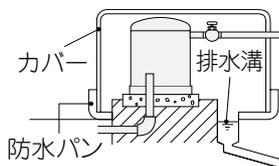
- 過熱して発火することがあります。



禁止

防水処理・排水処理されていない床面に設置しない。

- 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。



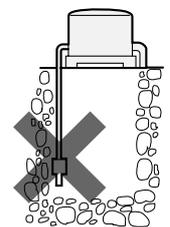
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。



禁止

空運転（水のない状態での運転）はしない。

- ポンプ内の水が熱湯になりやけど・故障の原因になります。



禁止

このポンプは清水以外の液体には使用しない。

- 破損によりけがや感電の恐れがあります。



禁止

ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない。

- 変形・脱落によりけがをします。



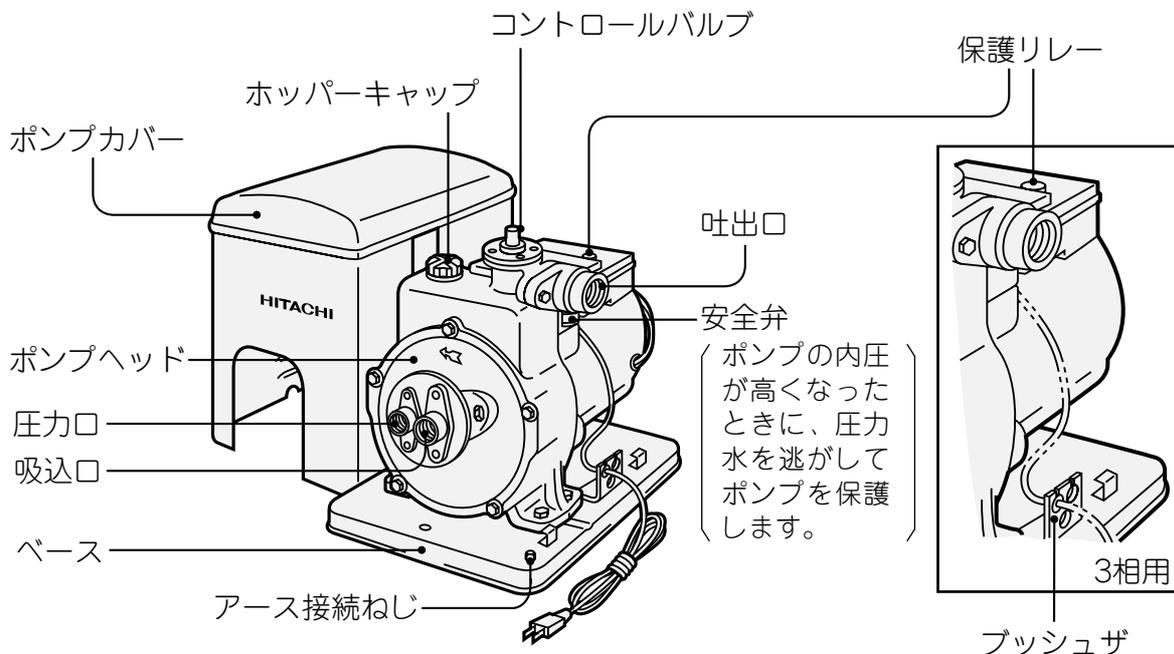
注意

製品の取り扱い時は手袋をして作業を行う。

- 万一のけが防止のためです。

各部の名称と使いかた

C-P400V形・C-K750V形

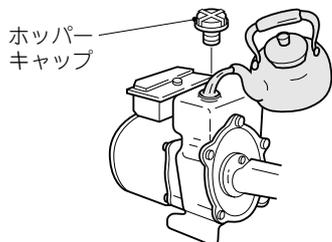


ホッパーキャップ

呼び水のしかた

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

- 電気部品に水がかからないように注意してください。



- 浅井戸配管のとき、数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。

保護リレー

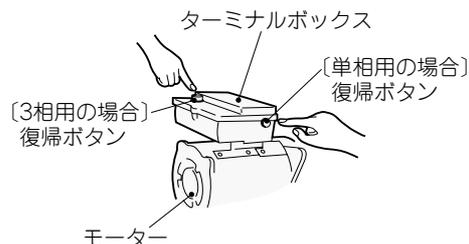
モーターが過負荷になったときにモーターを止めて保護します。

保護リレーが動作したとき

動作してから約10分後に復帰ボタンを押してください。

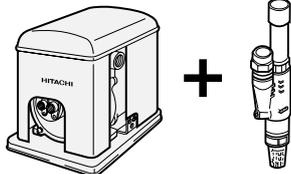
- 再び動作するときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

C-P400V・C-K750V



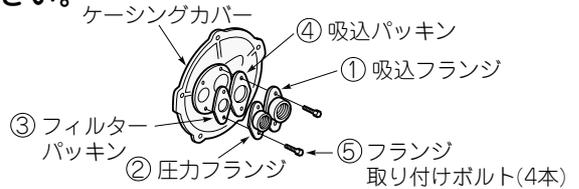
使用上のご注意

必ず別売りの「標準ジェット」「深井戸専用ジェット」または「深井戸用シングルジェット」と組み合わせて使用します。



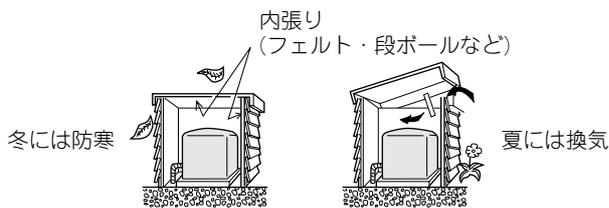
※ジェットを使用しないと、水が上がらないなど、ポンプが正常に運転できません。

取り外した部品は捨てないで保管しておいてください。



※浅井戸配管の場合、上記の部品①～⑤は不要となります。取り外した部品は、将来の水位低下も考え大切に保管してください。

冬期には、必ず凍結防止策を行ってください。(詳細は11ページ参照)



3～4日間以上水を使用されなかった場合、ポンプ内部の水が濁っていることがあります。このようなときには、5～6分間水栓から水を流し、水がきれいになってからご使用ください。

故障かな……と思ったら

症状	点検するところ
ポンプが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●ブレーカー、ヒューズが切れていませんか。 ●漏電遮断器が動作していませんか。 ●保護リレーが動作していませんか。

仕様

形名	C-P400V		C-K750V	
	モーター定格出力	400W		750W
相電圧	単相100V		3相200V	
周波数	50Hzまたは60Hzいずれか専用			
消費電力(50Hz/60Hz)	905W/905W		1300W/1300W	
配管方法	浅井戸	深井戸	浅井戸	深井戸
吸上げ高さ	6m	12m	6m	12m
押上げ高さ	28m	24m	36m	30m
揚水量(全揚程)	45L/min (12m)	34L/min (23m)	60L/min (12m)	50L/min (24m)

(配管方法、吸上げ高さ、揚水量は標準ジェットと組み合わせたときの仕様を示します)

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのおあと、大切に保存してください。

— 保証期間 —

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

転居に伴い電源周波数が異なりますと、所定の性能がえられなかったり、故障の原因になりますので、部品の取替や調整が必要です。

1. 取り替えが必要な部品
・ポンプヘッド部
2. 取り替えに伴う費用
・技術料・部品代および出張料



沖縄県、佐渡は60Hz

修理を依頼されるときは

5ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用中を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	浅深両用非自動ポンプ
形名	C-P400V形など
製造番号	8000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用のポンプの点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気をを感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は 家電ビジネス情報センターへ

TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30 (月~土)
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

据付工事について (販売店様・工事店様用)

[工事をされる方へのお願い]

- 製品機能が十分発揮できるように、この「据付工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は必ず試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

1 電源・周波数の確認

- 使用するポンプの電源と合っているか確認してください。
単相用ポンプ……単相100V 3相用ポンプ……3相200V
- 周波数は、50Hzまたは60Hzいずれか専用ですから確認してください。

2 据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプはできるだけ井戸の近くに取り付けてください。
- 横引きの距離（井戸からポンプまで）は吸上げ高さ（吸水面からポンプの中心まで）によって制限されます。吸上げ高さは、湯水時の水位低下を考えて決めてください。

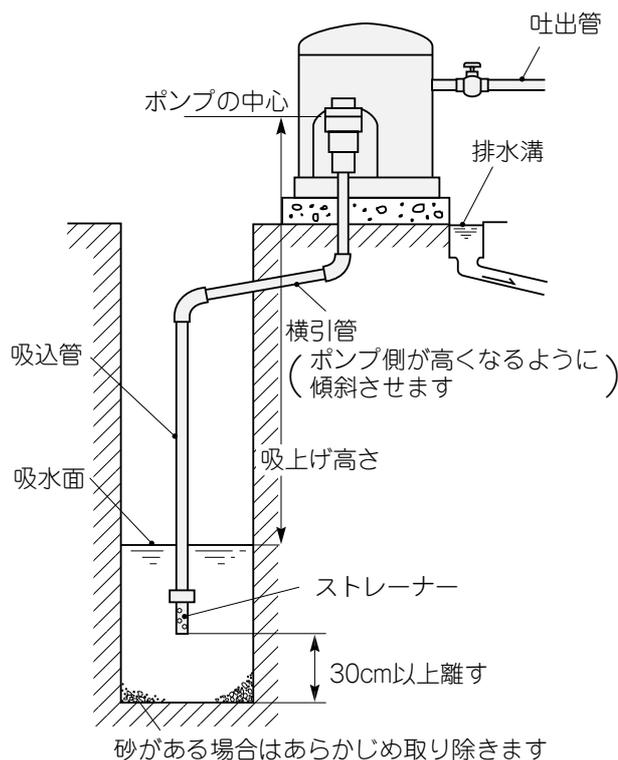
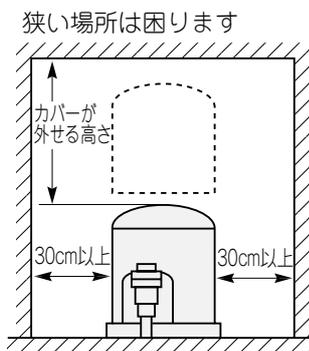
●吸上げ高さによる横引管の長さ制限

(標準ジェットと組み合わせ、浅井戸配管のとき)

吸上げ高さ(m)	6	5	4
横引き管の長さ(m)	8	18	29

3 砂の確認

- 新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分取り除いてから配管してください。



据え付け時のご注意

⚠ 注意

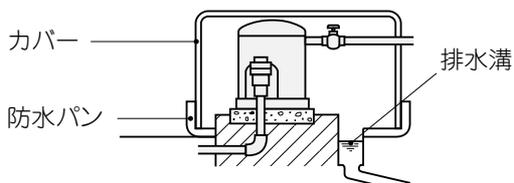


防水処理・排水処理されていない床面に設置しない。

禁止

●水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

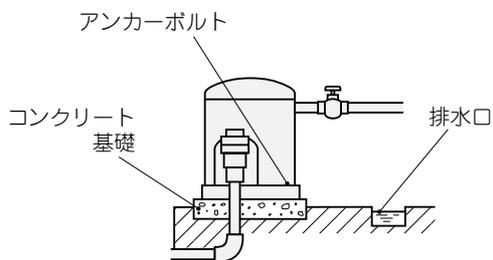
防水パン・カバーなどで、噴き出した水が必ず排水できるようにしてください。



※カバーは風通しがよい構造にしてください。
 ※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。

水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定してください。

基礎は沈下を防ぐために、コンクリートでつくることをお勧めします。



屋外で使用できますが、できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付けてください。

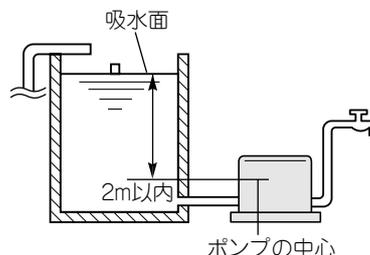
●製品を長持ちさせるためです。



※屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を、つくってください。(5ページ参照)

吸水面がポンプヘッドより高くなる時(押し揚程のとき)は、2m以内にしてください。

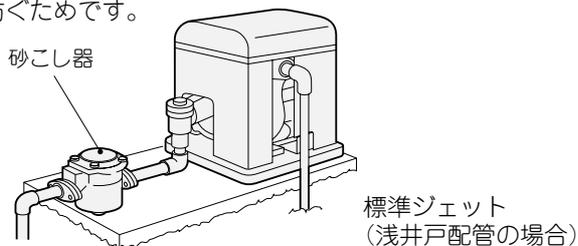
※ウォーターハンマーなどにより、ポンプの部品が破損したり、漏水するのを防ぐためです。



砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。

●砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。

※ポンプ内に砂が入り、砂かみや摩耗が大きくなるのを防ぐためです。



組み合わせる別売りの標準ジェット、深井戸専用ジェット、または深井戸用シングルジェットは、吸上げ高さに適したものをお使いください。

●井戸径が小さい場合は、深井戸用シングルジェットをお使いください。

吸上げ高さとはジェット部品(別売り)形名の関係

ポンプ	吸 上 げ 高 さ (m)					
	～ 6	6 ～ 12	12 ～ 18	18 ～ 24	18 ～ 30	24 ～ 35
C-P400V	J40-6V	J40-6V	J75-24V (J40-24SV)	J75-35V (J40-24SV)	J75-35V	—
C-K750V	J75-6V	J75-6V	J75-24V (J40-24SV)	J75-24V (J40-24SV)	—	J75-35V

配管工事について

1 ポンプと配管の接続

- 吸込側の配管の接続方法は、組み合わせの標準ジェット、深井戸専用ジェットまたは深井戸専用シングルジェットの取扱説明書をご覧ください。

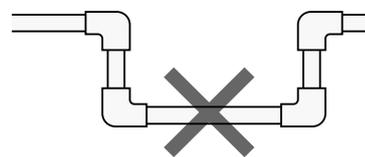
※市販のバルブ用ソケットを用意して、下記配管太さの水道用硬質塩化ビニル管で接続してください。

- 吐出側の配管の太さ

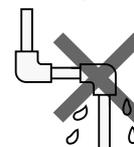
形名	吐出管の太さ(内径)
C-P400V,C-K750V	30mm

2 配管工事

- 水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくしてください。(性能低下、揚水不能の原因になります)



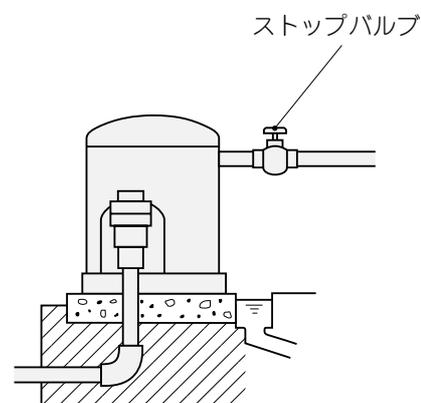
- 配管の継ぎ目は水漏れがないよう確実に行ってください。(性能低下の原因になります)



- 吐出口には必ず仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。

※点検・修理の際に必要です。

- ポンプ内に異物が混入しないよう吸込管にストレーナー(ジェット部品に付属)を必ず取り付けてください。(7ページ参照)



3 最高水栓の取り付け位置

- 配管や水栓の抵抗、ガス湯沸器やシャワーなどの必要最小圧力を考慮して器具や水栓の取り付け位置を決めてください。

配線工事について

⚠ 警告



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

- 誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

1 アースと漏電遮断器を取り付けてください。

⚠ 警告



アース接続

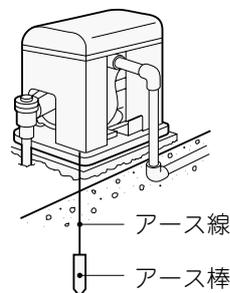
アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、必ず取り付けてください。(取り付けは有料です) アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工事士が行います)が必要です。工事の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

● アース線の接続について

- ・ D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。
- ・ 既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。



ご注意

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。(法令などで禁止)

- ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)

● 漏電遮断器について

- ① 漏電遮断器は \diamond または ∇ マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で回路の定格電流以上のものを回路に取り付けてください。
- ② 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。



2 電源電線の取り付け

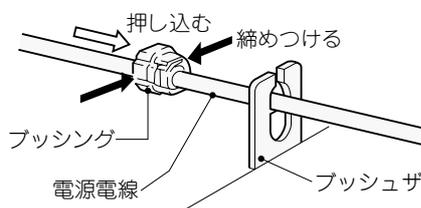
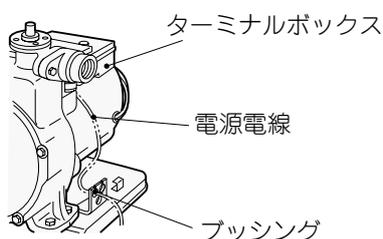
● 单相用ポンプのとき

専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

● 3相用ポンプのとき

電源電線は付属されていませんので、次のように結線してください。

- ① 電源電線は「600V 二種(耐熱)ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル HVCT0.75mm²」を使用してください。電圧降下を避けるため、できるだけ短くしてください。
- ② ポンプとの接続はターミナルボックス内の電源電線接続端子に接続してください。
 - 電源電線はターミナルボックスカバー裏面の配線図に従い、赤、白、黒を合わせて接続してください。
 - 端子部に張力が掛からないよう付属のブッシングで固定してください。
 - 電源側には、プレーカーを設け、プレーカーの端子部に接続してください。



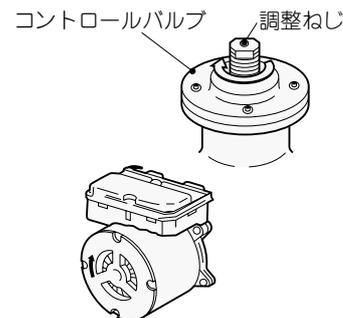
運転について

1 試運転

- ポンプに呼び水をしないうちに運転することは禁物です。
(呼び水のしかたは、「各部の名称と使いかた」(4ページ)を参照してください)
- 電源が入っていないことを確認してください。
 - ①ホッパーキャップを外し、呼び水口より水を十分入れたあと、ホッパーキャップをしっかりねじ込みます。
※押し込み配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。
 - ②吐出管側の水栓を1か所開きます。
 - ③電源を入れてください。
※数分たっても揚水しない場合は、呼び水が不足している場合がありますから、電源を切り、再び①項の呼び水をしてください。

2 運転状態の確認

- 異常なく運転を開始したら、水栓を開閉し、ポンプの運転状態や漏水個所がないか確認してください。また水栓を閉じたときに安全弁が動作して圧力水が孔より出てくることを確認してください。
- 耳ざわりの音がするようでしたら、コントロールバルブの調整ねじを1~2回ねじ込んでください。



3 3相ポンプのとき

- モーターの回転方向とポンプヘッドに示された矢印の方向が一致しているか確認してください。

防寒について

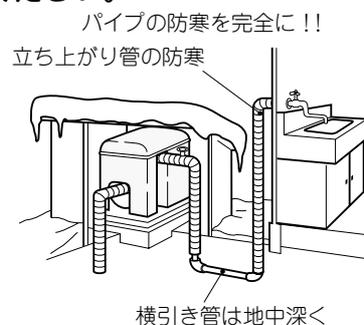
- 寒い地方はもちろんですが、暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがありますので、必ず凍結防止策を行ってください。

1 配管

- 横引き部分……地中に埋めてください。
- 地上の露出部分……保温材を使用してください。
寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご利用ください。

2 ポンプ

屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋をつくってください。
小屋は夏も換気ができるようにしてください。



⚠ 注意



禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプのカバー内に燃えやすいものを入れない。

- 過熱して発火することがあります。

※凍結による破損事故については責任を負えませんので、凍結防止対策は徹底して行ってください。

お客様メモ

後日のために記入しておいて
ください。
サービスを依頼される時、
お役に立ちます。

購入店名

電話 () -

ご購入年月日

平成

年

月

日

 **日立アプライアンス株式会社**

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111